

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 再生可能エネルギー等導入事業

戦略7

1,039万円

(担当：環境課環境政策係)

災害時等に地域住民の生活等に必要不可欠な都市機能を維持するために、地域の防災拠点となる公共施設に太陽光発電設備と蓄電池を設置し、災害に強く環境にやさしいまちづくりを進めます。

設置施設

築館総合支所	高清水総合支所
若柳総合体育館	高清水診療所
瀬峰診療所	鶯沢診療所

財源 県の負担額 1,039万円

新 「美しいくりはら」景観計画策定調査事業

戦略1

820万円

(担当：都市計画課都市計画係)

自然と共生する美しい定住環境の整備、環境負荷の少ない景観素材・デザインによるまちづくり、景観とツーリズムの連携など、栗原ならではの景観を「資源」として活かし取り組むため、景観計画をつくる調査を行います。



景観を「資源」として活かす調査を行います

みず 農地・水保全管理支払交付金事業

6,901万円

(担当：農業政策推進室農業政策推進係)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や水路などの施設の更新、補修を行う長寿命化の活動に対して支援を行います。



共同活動による農道の砂利敷き

拡 住宅用太陽光発電設備設置事業補助金

1,200万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に助成します。



地球温暖化防止にも役立つ太陽光発電システム

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路整備事業

戦略1・4

4億2,367万円

(担当：建設課建設係)

市民の生活を支える基礎となる市道(橋梁)を整備し、安全で快適な道づくりを実施します。

《築館》日吉通線他3路線、栗原中央西線、間渡戸線、下中道線、《若柳》新田線(2期)、川北花泉線、大袋8号線、福岡14号線、
《栗駒》上町裏線、上町裏住宅1号線他1路線、
《高清水》上萩田線、覚満寺線(2期)、
《一迫》真坂前田線なかよし橋、町西線、
《瀬峰》下田～根川線下田跨線橋、《鶯沢》
辻前遠堀線、《金成》藤渡戸山中線山中橋、
《志波姫》御蔵線、《花山》合道軍沢線合道吊橋、
《市内一円》橋梁詳細点検・健全度判定



市道日吉通線他3路線(築館)

財源 国・県の負担額 7,920万円
市の負担額 3億4,447万円
(うち市債[借入金]2億4,990万円)

道路橋りょう維持事業

5億5,200万円

(担当：建設課維持係)

市道や生活道路等の補修や側溝整備を行い、安全で安心な道路環境を造ります。

《施工前》



《施工後》



市道十文字線(若柳)

都市計画街路事業

戦略1

2億8,333万円

(担当：都市計画課都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進していきます。

《築館》一迫南線
《志波姫》桜町線
《若柳・志波姫》新山十文字線

財源 国・県の負担額 1億1,640万円
市の負担額 1億6,693万円
(うち市債[借入金]1億980万円)



現在整備中の都市計画道路一迫南線

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

公営住宅整備事業

戦略3

3億7,503万円

(担当：建築住宅課建築係)

安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備を図るため、地域と密着・連携した公営住宅の建設を行うと共に、建替えにより用途廃止となった公営住宅の解体を行います。

また、定住化を図るため、新たな定住促進住宅の整備を行います。

建設 《栗駒》 市営八日町住宅
解体 《若柳》 市営川原住宅
《栗駒》 市営上町裏住宅
造成 《瀬峰》 定住促進下藤沢住宅

財源 国・県の負担額 1億7,692万円
市の負担額 1億9,811万円



市営八日町住宅（上町裏住宅建替）敷地

住環境リフォーム助成事業

戦略3

5,000万円

(担当：建築住宅課建築係)

バリアフリーや防災、省エネ化等に併せて実施する個人住宅のリフォームに対して、工事費の1/10（上限20万円）を助成します。

地域交通対策事業

戦略3

2億965万円

(担当：市民協働課地域振興係)

県内一広い面積である栗原市の公共交通の利便性向上を図るため、高齢者の通院や学校への通学に配慮しながら、交通空白地域の解消や市民のニーズに合わせた市民バス路線・時刻の設定等を行い、市民が利用しやすいバス運行に努めます。

財源 県の負担額 1,500万円
市の負担額 1億9,465万円

携帯電話基地局整備事業

2,494万円

(担当：市政情報課情報課推進係)

携帯電話不感地帯の解消を図るため、花山地区（金沢）に携帯電話基地局を整備します。



平成24年度に花山地区（小豆畑）に整備した鉄塔

財源 国・県の負担額 1,827万円
事業者の負担額 277万円
市の負担額 390万円

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 消防団員用防火服整備事業
3,040万円
(担当：消防本部総務課総務係)

火災などの災害現場で、消防団員が活動する際の安全を確保するため、防火服を整備します。



消防団員用防火服イメージ

新 災害から市民の生活を守る道路整備
戦略2 1,000万円
(担当：建設課建設係)

若柳と志波姫を結ぶ「徳富橋」は潜水橋で通行が危険な状態であり、また、老朽化が著しいため、新設の橋梁を整備します。

市道大林線 ((仮称) 栗原東大橋橋梁整備事業)



市道大林線 徳富橋 (若柳～志波姫)

新 防災行政無線戸別受信機による長期
停電対策事業 1,344万円
(担当：危機管理室防災係)

災害時に長期停電で防災行政無線同報系屋外子局の電源が枯渇しても、情報が途絶しないよう、指定避難所(307施設)に戸別受信機を設置します。

新 防災行政無線の自動問合せシステム整備
事業 154万円
(担当：危機管理室防災係)

専用の電話番号に電話することにより、防災行政無線の放送内容を確認できるようにします。

耐震診断・耐震改修等助成事業 **戦略3** 6,352万円
(担当：建築住宅課建築係)

今後も発生が予想される大地震に備え、昭和56年以前の木造住宅に対して、耐震診断士を派遣し、耐震診断並びに改修設計を行います。さらに、診断に基づく耐震改修工事に対して助成を行い、安全な居住の確保を支援します。

また、高齢者や母子家庭世帯等における、タンスなどへの家具転倒防止器具の取付や、災害時の安全と避難路の確保を図るため、道路に面したブロック塀等の除却工事や塀に代わる生垣の設置に対する助成を行います。

木造住宅耐震診断助成事業 : 耐震診断士の派遣、診断・設計
木造住宅耐震改修工事助成事業 : 住宅の耐震改修工事への補助
家具転倒防止器具取付事業 : 高齢者・母子世帯等への器具取付
ブロック塀等除却・生垣化事業 : ブロック塀の除却工事等への補助

財源 国・県の負担額 2,695万円
市の負担額 3,657万円



耐震改修の状況

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 学府くりはら教員等配置事業

戦略5

5,443万円

(担当：学校教育課指導係)

きめ細かな教育活動を行うため、市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図ります。



市採用教員の授業風景

拡 学力向上のための緊急プロジェクト

戦略5

1,269万円

(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携した長期休業中の中学生の学びの場「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、学び支援コーディネーターを活用した小学生版「学府くりはら塾」、小・中学校の全ての児童生徒を対象とした学力調査など、総合的な学力向上を行います。

拡 スクールバス運行事業

戦略4

2億6,974万円

(担当：学校教育課学務係)

スクールバスを運行し、遠距離通学園児・児童生徒の通学の安全確保と教育環境の整備を図ります。

新 学校ICT環境推進事業

戦略5

4,250万円

(担当：学校教育課指導係)

タブレット端末を導入することにより、基礎的な情報活用能力を身に付け、情報社会に適應できるように情報教育を推進します。

新 教育研究センター設置事業 135万円

戦略5

(担当：学校教育課指導係)

新設する教育研究センターで、栗原市の教育課題の検討や指導方法を研究し、児童生徒の学力向上を図ります。

新 幼保一元化施設整備事業

戦略4

8,460万円

幼稚園整備事業

戦略4

8,474万円

(担当：教育環境推進室教育環境推進係)

幼稚園の3年保育の実現と、保育所入所の待機児童の解消を目指して、築館地区に幼稚園施設を整備するとともに、志波姫・栗駒地区における幼保一体化施設の整備を行います。

幼保一元化施設整備事業

財源 市の負担額 8,460万円
(うち市債[借入金] 8,030万円)

幼稚園整備事業

財源 国の負担額 828万円
市の負担額 7,646万円
(うち市債[借入金] 7,230万円)

青空大使派遣事業 847万円

戦略5

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内中学2年生を対象に海外研修を行い、国際感覚豊かな人材を育成します。



現地学生との交流

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

心にきざむ 文化講演会 226万円

著名人を招き、身近で魅力ある内容をテーマとした文化講演会を開催します。

新 ジャズ・コラボくりはら 147万円

市内小・中・高校の吹奏楽部員と、サックス奏者、大山日出男氏ほかプロの演奏家との合同演奏会を行います。演奏会前にプロの演奏家から直接指導を受け、共演することにより、児童生徒にとって人生に大きく影響する貴重な体験となり、素晴らしい刺激となります。

文化芸術振興事業 1,989万円

文化芸術を創造し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことができるよう、質の高い文化芸術の提供を行います。

(担当：社会教育課文化スポーツ推進係)



H24. 9. 22 開催 復興支援ジャズコンサート
「大山日出男氏と栗原市内小中高校生との合同演奏会」

新 スポーツ施設整備事業（築館陸上競技場・一迫多目的競技場） 1,410万円

(担当：社会教育課文化スポーツ推進係)

築館陸上競技場の倉庫増設や、一迫多目的競技場の人工芝張替のための実施設計を行います。



築館陸上競技場

新 若柳総合文化センター改修事業 1億円

(担当：社会教育課文化スポーツ推進係)

利用者の安全性の確保とサービスの向上を図るため、舞台照明の改修を行います。



栗原市若柳総合文化センター(ドリームパル)

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

伊治城跡史跡整備事業 4,183万円

(担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係)

史跡伊治城跡（指定面積：96,481.47㎡）の保存保護・活用と後世への継承を図るため、史跡を購入します。

財源	国の負担額	3,341万円
	市の負担額	842万円



上空から見た、史跡伊治城跡 政庁付近